

平成 29 年度道徳教育実践研究（研究指定校）事業

【学校の概要】

ふりがな 学校名	みましりつえはらちゆうがっこう 美馬市立江原中学校		校長氏名	三宅 淑子		
所在地	〒779-3741 徳島県美馬市脇町字曾江名359番地41 電話 0883-52-1140 ファクシミリ 0883-55-0761					
(H.29.5.1賦み)	1年	2年	3年	特支	合計	教員数 18名
学級数	2	2	2	2	8	
生徒数	52	60	69	3	184	

【研究計画】

研究主題	互いに認め合い、高め合う生徒の育成 ～豊かな体験活動や、人・社会との関わりを通して～
研究主題 設定の理由	<p>本校の生徒は明るく素直であり、学習・部活動・学校行事等に互いに協力して真面目に取り組んでいる。保護者は教育に熱心で関心も高く、学校に対して協力的である。また、地域の方々も学校の教育活動に理解を示し、日頃から支援していただいている。本校では、めざす学校像を「あたたかく、清々しい学校～認め合い、高め合う～」とし、全教職員と全生徒が合い言葉にして多様な教育活動に取り組んでいる。多くの生徒が主体的・意欲的に活動しているが、自分を表現することが苦手で友人関係に悩みを抱える生徒もいる。</p> <p>そこで、豊かな体験活動や人・社会との関わりを通して、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、道徳の授業を通して、自己を見つめ、道徳的価値を内面的に自覚し、人間としての生き方についての自覚を深めさせたい。そして、互いに思いやり自他の良さを認め合うあたたかさや、互いに切磋琢磨し共に高め合おうとする清々しさを身に付けさせたい。</p>
調査研究 の構想	<p>1 道徳の教科化に向けた「量的確保」のための取組</p> <p>(1) キャリア教育，人権教育，総合的な学習の時間，学校行事等との関連を踏まえ，各年間計画を見直しつつ，道徳教育の全体計画の見直しを行う。</p> <p>(2) 各学年に道徳教育推進担当を置き，定期的に推進委員会を開催し，各学年の取組状況等について協議する。</p> <p>(3) 各学級に道徳系の生徒を置くとともに，道徳の授業で学習した内容項目等を教室背面等に掲示し，教員・生徒が学びの蓄積を確認できるようにする。</p> <p>2 体験活動や学校行事等の充実</p> <p>(1) 各種体験活動や学校行事等のねらいを明確にし，それを生徒が共有して取り組むことにより，達成感・成就感をもたせる。 文化祭，体育祭，生活刺エンターション，合唱コンクール，意見発表会 等</p> <p>(2) 地域との更なる連携を図り，人・もの・社会とのつながりを通して，自己肯定感や自己有用感を実感させる。 ゴミゼロ活動，愛校作業，職場体験学習，保育実習，地域のマイスター訪問 等</p> <p>3 道徳の教科化に向けた「質的向上」のための取組</p> <p>(1) 各学年及び学校全体における研究授業・研究協議を年間複数回実施し，それぞれの教員の授業力向上を図る。</p> <p>(2) 体験学習や学校行事等を活かした指導方法の工夫改善を図る。</p> <p>4 道徳に関するアンケートの実施</p> <p>(1) 生徒の実態と課題を把握するため，5～6月に実施する。</p> <p>(2) 研究の成果と今後の課題について考察するため，12～1月に実施する。</p>